

# いろいろな竹細工

会場	木工室 ※同時開設は不可	一人あたり費用	花差し 280円 孫の手 250円 はし・皿 600円
人数	1講座35人以内	講師料	1講座あたり5,000円
時間	2～3時間	利用団体が用意するもの	なし

1 準備	<p>(1) 服装を整え、着席する。</p> <p>(2) 講師の紹介、講師あいさつ。</p> <p>(3) 必要な用具、材料 ※ 講師の指示に従い、準備する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">                 竹、竹用のこぎり、きり、切り出しナイフ、竹割りなた、木槌、紙やすり、研磨機、筆記用具等、             </div>
2 作り方	<p>&lt;花差し&gt;</p> <p>(1)モウソウチクの根の部分を使う。(A～C)</p> <p>(2)マダケを使用した花入れ。(D)</p> <p>&lt;孫の手&gt;</p> <p>(1)竹を幅4cm位に割り、長さ50cmに切る。</p> <p>(2)鋸で4本の切れ目を引く。手の部分は節目を利用するとよい。</p> <p>(3)研磨機で好きな形に仕上げる。</p> <p>&lt;はし・皿&gt;</p> <p>(1)はしの長さは、使う人の用途に合わせ決める。(15～30cm位)</p> <p>(2)形は、丸・四角・六角など工夫する。</p> <p>(3)青竹を長さに合わせ切り、なたで1人前ずつ割る。</p> <p>(4)左手で竹を押さえ、太い方から細い方に向かって削り、太さを揃える。 表皮を傷つけないよう注意する。はしの頭は節を揃えるとよい。</p> <p>(5)はし置きは長さ5cm位に切り、はしを置く幅に切れ目を入れ、中央部を削り取る。</p>
3 指導講評	<p>(1) 班ごとに活動をふり返り、発表者を決める。</p> <p>(2) 班ごとに反省や感想を発表する。</p> <p>(3) 講師の指導講評を受ける。</p>
4 後片付け	<p>(1) 講師の指示により、ゴミ等を片付けきれいにする。</p> <p>(2) 使った用具を、もとあった場所に戻す。</p> <p>(3) 講師にお礼を述べる。</p>